

科目コード	41088	科目ナンバリング	MA20C04K	主な使用言語	日本語				
授業名（英文）		ITビジネス論（IT Business Studies）				担当者	佐藤 和明		
基本情報	年次	2	単位数	2	授業形式	講義	AL要素	1 6 . 振り返り用紙と応答	
基本情報	曜時	木曜3限		関連資格			履修可能学科・専攻	E Pe Pc C W F N M	
授業の概要	ITを経営に活かしてビジネスを展開するための基礎知識を売るために、ITビジネスの仕組み、用語を中心に入門的な知識を得る講義内容である。特に、身近なインターネットを活用したビジネスモデルを中心に、AI活用の現状から今後の展望なども盛り込んだ内容となる。								
	注意点として、教材として、主にネット教材である「googleデジタルワークショップ」を活用して進めるため、各自、自己の名前で利用できるGoogleアカウントは必須となる。また、シラバスに記載されている各回テーマの一部は、ネット教材の進捗により、後半にまとめて講義する場合もある。								
キーワード	eビジネス、デジタルコンテンツ、Webマーケティング、検索エンジン、データマイニング、情報セキュリティ								

学位授与方針との関係						
知識・技能	到達目標 （知識・技能）	ITビジネス及びインターネットビジネスに関する基本知識が、各回の復習小テストで8割程度の内容で解答することができる。	評価方法 （知識・技能）	各回小テスト	評価割合 （知識・技能）	4 0 %
思考力・判断力・表現力	到達目標 （思・判・表）	ITビジネス、インターネットビジネスの概要を理解し、記述式の期末テスト問題に7割程度、解答することができる。	評価方法 （思・判・表）	期末テスト	評価割合 （思・判・表）	6 0 %
学修に主体的に取り組む態度	基本的に評価対象としないが、目に余る私語、他学生もしくは講義全体に支障ある行為等は、厳重な注意とともに、減点の対象となる。				評価割合 （学修態度）	0%
実践的ボランティアリズム	基本的に評価対象としないが、日々のボランティア活動等が講義内容と合致する場合には、大いに「思考力・判断力・表現力」への評価として加点する。				評価割合 （ボランティアリズム）	0%
公正性	基本的に評価対象としないが、不当な行為があった場合には、厳重注意、減点の対象となる。				評価割合 （公正性）	0%
その他	講義内で流す「googleデジタルワークショップ」の動画から、内容を書き留めるルーズリーフを用意し、テスト時の資料とすることが望ましい。				評価割合 （その他）	0%

授業計画	第1回 オリエンテーション 講義の概要説明と各回の概要説明をします。 第2回 ITビジネスとは
------	---

	ITビジネス、特にインターネットを用いたビジネスの特徴や社会に与えた影響など、全体像を知る。 第3回 ITビジネスのビジネスモデル 技術革新がもたらしたビジネスモデルの歴史的変遷、代表的なビジネスモデルの知識を得る。 第4回 eビジネスの基礎知識 eビジネスには様々なビジネスの形態が存在する。各ビジネスの形態を理解し、実例とともにeビジネスの概要を理解する。 第5回 デジタルコンテンツ・ビジネス 現在、私達はインターネットを介して、様々なデジタルコンテンツを享受している。デジタルコンテンツの配信ビジネスを中心に全体像を知る。 第6回 Webマーケティング入門 Webサイトを作成しただけでは、集客することはできない。Webサイトへ集客を促すマーケティング手法の基本及び全体像を把握する。 第7回 検索エンジンのしくみ 日常生活の調べ物に欠かせない検索エンジンであるが、その成り立ちから現在まで、そして世界各国の検索エンジン事情を踏まえて理解する。 第8回 消費者の動向を知るデータマイニング アンケートやSNSへの投稿、行動履歴などのデータからパターンやルール、顧客の深層心理を発見する手法である。データマイニングの基本知識を理解する。 第9回 ITビジネスに必要なインフラ ITビジネス、特にインターネットビジネスに必要なインフラの概要を把握する。 第10回 ITビジネスの情報セキュリティ ITビジネスで守るべき情報や漏洩のパターンを事例とともに理解する。 第11回 ITビジネスの危機管理 コンピューターウイルス対策の必要性と対策、ネット上で発生した企業の不祥事など事例とともに、問題点を考察する。 第12回 電子認証と電子決済 電子認証や電子決済の仕組みを理解し、私達の生活での活用事例などを理解する。 第13回 ITビジネスの法と倫理 ITビジネスにも光と影があり、様々な事件が発生している。知的財産権、個人情報保護法、不正競争防止法などの判例から、ITビジネスの法的な基礎知識を学ぶ。 第14回 進化するITビジネスの今後 AIと技術発展でさらに進化するITビジネスの実用化前の事例などを含め今後の展望に関する知識を得る。 第15回 総括 総復習とともに、テストに関する説明を実施する。
使用テキスト	必要と思われる場合、参考資料のPDFを配布する。
予習・復習のポイントと参考文献・資料等	事後学習としては、各講義を配布物とともに、復習してください。事前学習としては、次回講義のキーワード、もしくは参考となるWebサイトや文献を指定するので、それらを読み込んでください。
障がいのある履修者への対応	可能な限り対応しますので、学務部等に連絡し、相談してください。
授業時間外の連絡手段	初回到伝えるオフィスアワーで対応します。
留意事項	課題についてはIC-UNIPAの課題機能を利用して提出物を確認後、授業内で口頭でフィードバックを行います。

--	--